

国立青少年教育施設の振興方策に関する検討会
国立夜須高原青少年自然の家 視察報告

1. 日 時 令和6年10月3日（木） 12：15～16：15
2. 視察先 国立夜須高原青少年自然
（福岡県朝倉郡筑前町三箇山1103）
3. 視察者 平野座長、青木委員、糸川委員、植田委員、佐藤委員、
帆足委員
4. 行 程
12：15～ 国立夜須高原青少年自然の家概要説明
13：30～ 施設見学
15：00～ 意見交換会
16：15 視察終了

5. 施設の利用状況

	団体名	人数	期間
1	桜原小学校	120	9/30（月）～10/4（金）
2	中山小学校	24	10/2（水）～10/3（木）
3	直方北小学校	59	10/2（水）～10/4（金）
4	修猷館高校剣道部	24	10/3（木）～10/4（金）
5	南薫小学校	120	10/3（木）～10/4（金）
6	直方西小学校	26	10/3（木）～10/4（金）

※視察当日は宿泊室が満室

6. 概 要

1) 概要説明

松井所長より、施設概要、沿革、利用者の推移、地域連携、教育事業についての説明。

2) 施設見学

松井所長、尾中次長、施設職員2名から以下のような説明を受けながら施設を見学した。

- ・施設は、28施設の中で4番目に新しい。（開所から37年目）

- ・強い雨や連日雨が続いた際には、施設内各所で水漏れが生じる。
- ・一部研修室で Wi-Fi 環境があり、学校のタブレット利用等も可能である。
- ・ボイラー室のパイプから水漏れが発生しているが、発生場所の特定はできていない。
- ・トイレは和式が多く、とある私立高校はそれを理由に利用を辞退した。



3) 意見交換会

○ 主な意見・感想は以下の通り。

- ・施設が老朽化している。(4 番目に新しくてこの状態ということはより古い施設は、かなり状態が悪いのではないかという推察)
- ・和式トイレが多い。
- ・水漏れや機器の問題が生じているが、直すお金がない現状では、どのように手を打つのかという議論が必要である。
- ・事後保全ではより多くのお金がかかるため、予防保全が必要である。
- ・利用者が減っている昨今、利用者を増やすための方策をどうするのか。
- ・主な利用者である学校への対応の充実について、今一度考える必要がある。
- ・青少年団体以外の利用者について、どの層を増やしたいかという戦略を練ってアプローチをかけていく必要がある。
- ・施設独自でお金を得ようという動きをもっとした方が良い。
- ・広報に工夫の余地がある。